

デザインの最高峰に挑戦する京都のものづくり

世界最高峰のインテリア・デザインの総合見本市「メゾン・エ・オブジェ」が本年1月にフランス・パリで開催されました。日本からも70を超える企業・団体が出展し、37の企業・団体がジェットロのジャパンプースを利用しました。京都市・京都商工会議所が海外販路開拓事業として実施している「Kyoto Connection」・「Kyoto Contemporary」からも19社が出展しました。

メゾン・エ・オブジェの魅力

メゾン・エ・オブジェは、他の展示会と比べ、よりデザイン性を重視し、空間全体での世界観を魅せることにこだわりのある展示会とされています。来場するバイヤーは百貨店・ファッションブランド・ホテル・レストラン等と多岐に渡ります。会場は商材や特性などにより複数のホールに分かれており、京都を含む日本の企業の出展が多いホール7にはハイエンドなインテリア製品が並びます。



「Kyoto Connection」ブース

趣向を凝らした商品展示

出展者はブースレイアウトや商品展示に様々な工夫を凝らします。例えば、「Kyoto Connection」は、伝統技術や意匠を現代の美意識で編集した素材のパネル展示をすることで、インテリアや建材のバイヤーに照準を当てたブースを演出しました。大阪の鉛筆削りメーカーは、鉛筆削りを敷き詰めたクリアボックスの展示や均質に削られた鉛筆のフレークをアートとして額縁に飾ることで、鉛筆削りの精巧な技術力をPR。特に来場者が多いブースは、展示する商品ラインナップを厳選し、五感に訴えた商品展示やレイアウトといった工夫が施されるなどの共通点があります。



「Kyoto Contemporary」展示・販売スペース(アトリエドパリ)



大阪の鉛筆削りメーカーブース

展示会出展前後の取り組み

最近パリ市内では、日本のデザイン製品を常設展示するスペースが増えました。これらは展示会出展の前後も商品を現地に展示することで、展示会への集客増加やアフターフォローの成約に結び付けることを目的としており、「Kyoto Contemporary」もパリ市内のアトリエで展示・販売を行いました。

開催期間	2016年1月22日(金)～26日(火)
開催場所	パリ ノール・ヴィルパント見本市会場 (PARIS-NORD Villepinte) 展示面積:約24万6,000㎡(東京ビッグサイトの約3倍)
出店商品内容	インテリア全般、家具、キッチン・テーブルウェア、テキスタイル、ギフト、雑貨、文具、内装材等
出展者数	59カ国、2,978社(うち、フランス国外企業55%)
来場者数	143ヶ国、7万6,417人 (うち、フランス国外からの来場者48%)

メゾン・エ・オブジェ・パリ 2016年1月展の概要

ジェットロのジャパンプース利用のメリット

- ・ 出展手続きの簡略化。主催者との調整はジェットロが代行。
- ・ 日本企業が固まって出展することによる広報効果・集客効果。
- ・ 一部出展経費の補助。

海外展示会へご出展される際は、是非ご利用ください。

ジェットロジャパンプース 検索



【問合せ先】
日本貿易振興機構(JETRO)
京都貿易情報センター

JETRO

所在地/〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
京都市サーチパーク2号館2階

TEL/075-325-5703 FAX/075-325-5706

E-mail/KYO@jetro.go.jp

URL/http://www.jetro.go.jp/indexj.html